

新 採 集 報 告 (3)

渡 辺 定 路

- (1) *Pasania edulis* Makino マテバシイ (ブナ科)
小浜市奈胡 1973.8/19 (12588) 神社境内であるから植栽したものと思われる。
分布 本州(関東南部から紀伊)、四国、九州、琉球
- (2) *Polygonum cuspidatum* Sieb. et Zucc. f. *elata*
Hiyama ベニイタドリ (タデ科)
三方町食見 1973.9/9(12669)
- (3) *Aconitum japonicum* Thunb. var. *eizanense* (Nakai)
Tamura キタヤマブシ (キンポウゲ科)
三方町三十三間山 1973.9/9(12692、12693) 大野市温見 1973.9/29
ヤマトリカブトに似ているが雄しべが無毛である。分布 関東中部、近畿に分布⁽¹²⁷⁰²⁾
- (4) *Cinnamomum japonica* Sieb. ex Nakai var. *tenuifolium*
Mak. et Nemoto ホソバヤブニツケイ (クスノキ科)
美浜町新庄 1973.5/17(12439) 葉が狭く細く、波状縁をなす。
本州(関東以西)、四国、九州に分布
- (5) *Prunus sargentii* Rehd. f. *pubescens* (Tatew) Ohwi
ケエゾヤマザクラ (バラ科)
金津町柿島 1965.9/3(8963) オオヤマザクラの葉の下面、葉柄に毛のあるもの
オオヤマザクラは島根県以東の深山に分布。
- (6) *Prunus tschonoskii* koehne ニツコウザクラ (バラ科)
大野郡和泉村面谷 1964.8/6(7990) チョウジザクラ×カスミザクラと考えられている
- (7) *Lotus corniculatus* Linn. var. *japonicus* Regel
f. *versicolor* Makino ニシキミヤコグサ (マメ科)
坂井郡三国町雄島 1973.6/26(12420) 花が後には紅色に変化するもの
- (8) *Trifolium hybridum* Linn. タチオランダゲンゲ(マメ科)
大野市鳩ヶ湯 1972.9/24(9737) シロツメクサに混つて帰化。茎は直立し、節部
より発根しなく、がく片は、がく筒よりやや長い。
- (9) *Celastrus stephanotifolius* (Makino)
Makino オオツルウメモドキ(ニシキギ科)
三方郡美浜町新庄 1973.6/24(12496) 敦賀市奥麻生
葉の下面の脈上には汚黄色の湾曲する短い剛毛がある。
- (10) *Angelica inaequalis* Maxim ハナビゼリ (セリ科)
遠敷郡名田庄村野鹿谷 1971.8/21(11635) 本州(関東以西)、四国、九州に分布

- (11) *Pyrola japonica* Klenze var. *subaphylla* (Maxim) H.
 Andr. ヒトツバイチャクソウ (イチヤクソウ科)
 三方町三十三間山 1973.9/9 (12665)
 葉が退化し1~2枚しかないもの
- (12) *Forsythia koreana* (Rehd) Nakai チョウセンレンギョウ (モクセイ科)
 福井市国見岳 1971.4/29 (11159)
 1970年10月23日に葉だけの標本を作り、倉田先生に同定をお願いした所、これが
 自生ならば天然記念物だよと返事があり、4月中旬にいつた時はまだ早く、4月29日
 に花の標本を作成。昔、植栽したもの。
- (13) *Calystegia japonica* Choisy f. *albiflora*
 Hara シロバナヒルガオ (ヒルガオ科)
 大飯郡大飯町本郷 1973.8/19 (12592) ヒルガオの白花
- (14) *Convolvulus arvensis* Linn. セイヨウヒルガオ (ヒルガオ科)
 小浜市丸山 1973.8/19 (12587) 帰化植物
 ニワトリの餌の中に混っていたのかも知れない。
- (15) *Cuscuta chinensis* Lamarck ハマネナシカズラ (ヒルガオ科)
 福井市鷹巣海岸 1973.7/8 (12516)
- (16) *Ajuga decumbens* Thunb. f. *albiflora*
 Honda シロバナキランソウ (シソ科)
 坂井郡丸岡町丈競山 1973.5/5 (12285)
- (17) *Phryma leptostachya* Linn. var. *asiatica* Hara f.
oblongifolia (Koidz) Ohwi ナガバハエドクソウ (ハエドクソウ科)
 福井市西畑 1973.7/8 (12511)
- (18) *Galium verum* Linn. var. *trachycarpum* DC.
 f. *album* Nakai チョウセンカワラマツバ (アカネ科)
 丹生郡越前町玉川観音 1973.6/20 (12412)
 福井市浜住 1973.7/8 (12514)
 花が白色で、子房と分果に毛が密生しているもの
- (19) *Viburnum plicatum* Thunb. f. *parvifolium* (Miq)
 Rehd. コヤブデマリ (スイカズラ科)
 遠敷郡名田庄村一ツ谷 1965.7/25 (4283) 葉長は3~5cm
 関東以西の本州、九州に分布
- (20) *Weigela floribunda* (Sieb. et Zucc) K.
 Koch ヤブウツギ (スイカズラ科)
 福井市足羽山 1966.5/ (4462) 花は濃紅色、子房、若枝、葉の下面には
 斜上毛がある。葉柄は、長さ3~5mm 本州(中部以西)、四国に分布

- (21) *Adenophora remotiflora* Miq. f. *leucantha* 大野市熊河
Honda シロバナソバナ (キキョウ科)
大野市熊河 1973.7/28 (12548)
- (22) *Taraxacum laevigatum* DC. アカミタンポポ (キク科)
福井市勝見町 1973.4/28 (12274) 帰化植物
セイヨウタンポポに似ているが種子が赤褐色のもの。
セイヨウタンポポと混生している。
- (23) *Carex blepharicarpa* Franch. var. *stenocarpa*
Ohwi ナガミシヨウジョウスゲ (スゲ科)
坂井郡丸岡町丈鏡山 1970.5/ (10677) 果胞が細くて嘴の長いもの。
分布は母種と同じであるが、谷川のふちなど浅い土壌の所に見られる。
- (24) *Carex idzuroei* Franch et Zucc ウマスゲ (スゲ科)
坂井郡三国町雄島 1967.5/5 (5813)
- (25) *Carex breviculmis* R.Br. subsp. *fibrillosa* (Fr. et Sav.)
T. Koyama var. *discoidea* Boott ヒメアオスゲ (スゲ科)
坂井郡三国町雄島 1967.5/5 (5816)
ハマアオスゲのやせた形または内陸形
- (26) *Carex longerostrata* C.A.Mey ヒエスゲ (スゲ科)
大野郡和泉村米俵 1967.7/23 (5822) 西限に近い
- (27) *Lilium auratum* Lindley ヤマユリ (ユリ科)
三方郡三方町気山 1971.6/27 (11009)
本州(近畿地方以北)。九州、北海道に帰化
栽培から野生化したものか、野生かはつきりしないようである。近畿地方では栽培から
野生化したものがある。(原色図鑑…保育社)
- (28) *Polygonatum odoratum* (Miller) Druce
var. *thunberii* (Morr. et Decne) Hara ヤマアマトコロ (ユリ科)
三方郡三方町御神島 1972.7/15 (10831) 葉裏の小脈上に突起のあるもの
本州(京都、奈良以东)、朝鮮に分布。雄島のアマトコロもこれのようである。
- (29) *Dioscorea tenuipes* Franch. et Savat ヒメドコロ (ユリ科)
三方郡美浜町雲谷山 1973.8/10 (12618, 12624)
三方郡三方町気山 1973.8/23 (12575)
三方郡三方町三十三間山 1973.9/9 (12667, 12672) 武内康義氏は敦賀市
小河口で採集 本州(関東以西)、四国、九州に分布。敦賀市が現在のところ日本海側の西限である
ヒメドコロはオニドコロに非常によく似ている。オニドコロは $2n=20$ 、ヒメドコロ
は $2n=20, 30, 40$ のものがある。
区別点 オニドコロは種子の一方にだけ翼があり、ヒメドコロの方は種子の全周に翼

がある。しかし、雌雄異株であるので雄株での区別はどうか。

オニドコロ——雄花では6個の雄しべの花糸が中央部付近で外側に湾曲、葯は2個平行に並んでいる。花被片は上方に湾曲、雌花の柱頭の先は三裂し、円柱花の花柱がある。雄しべが6本ある。

ヒメドコロ——雄花では6個の雄しべが花の中心部に束状に集って直立、葯が平行についているのは3個だけで他の3個は葯が長軸の方向に連つて着いている。花被片は外反している。雌花では花柱が認められない。雄しべは退化してほとんどない。

(30) *Tipularia japonica* Matsum

ヒトツボクロ (ラン科)

三方郡美浜町雲谷山山麗 1973.8/9 (12629) 果実